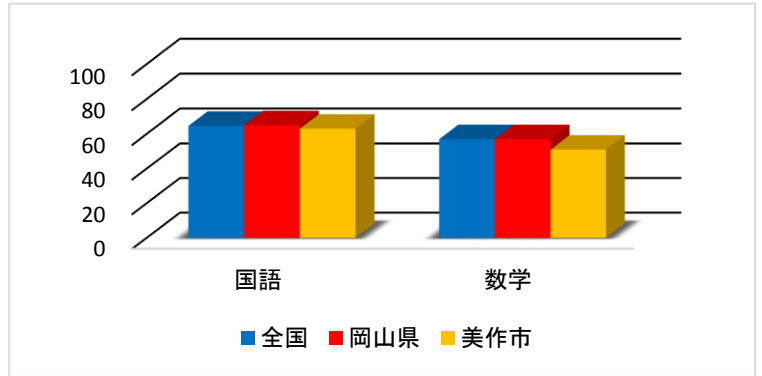


○平均正答率（中3） 割合（％）

	国語	数学
全国	65	57
岡山県	65	57
美作市	63	51

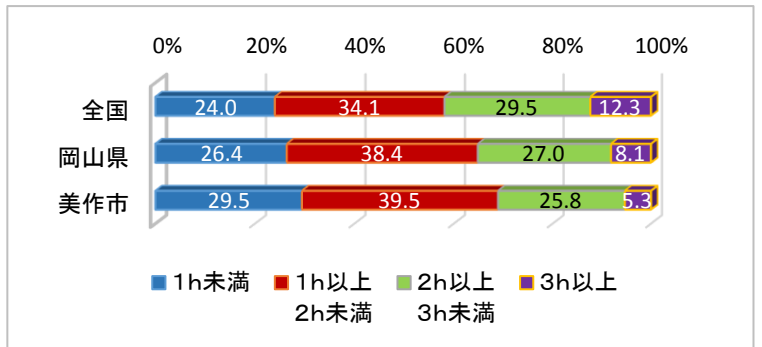
- ・国語、数学ともに、全国、県を下回った。
- ・国語の漢字を正しく読む設問で、正答率が全国平均を上回った。
- ・国語では「書くこと」の問題について、全国との差が大きかった。
- ・数学では「関数」「資料の活用」の問題について全国との差が大きかった。
- ・授業改善を意識した授業研究の実施や課題を意識した授業のあ



○平日の家庭学習時間（中3） 割合（％）

	1h未満	1h以上 2h未満	2h以上 3h未満	3h以上
全国	24.0	34.1	29.5	12.3
岡山県	26.4	38.4	27.0	8.1
美作市	29.5	39.5	25.8	5.3

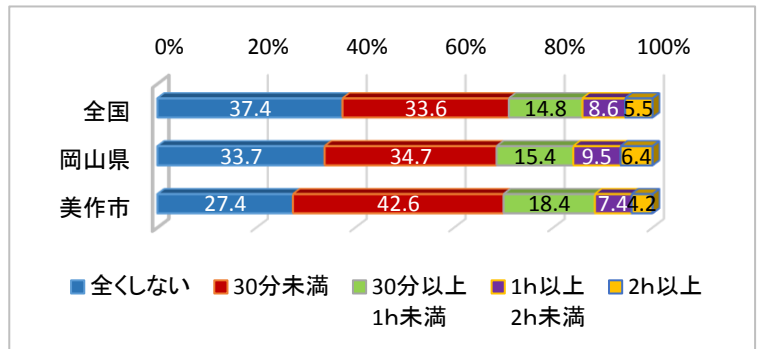
- ・平日の家庭学習1時間未満の割合は全国、県と比べ高い数値であるが、年々、差が縮まってきている。
- ・授業と家庭学習を関連付けながら、予習・復習・個別課題等の内容を工夫し、短いサイクルで定着を図る取組が必要である。



○平日の読書時間（中3） 割合（％）

	全くしない	30分未満	30分以上 1h未満	1h以上 2h未満	2h以上
全国	37.4	33.6	14.8	8.6	5.5
岡山県	33.7	34.7	15.4	9.5	6.4
美作市	27.4	42.6	18.4	7.4	4.2

- ・平日に読書を「全くしない」生徒の割合は、全国、県と比較すると少ない。
- ・1時間以上の割合が全国、県の数値と比較すると少ない。
- ・読書の時間確保のための工夫がさらに必要である。



【全国学力・学習状況調査において明らかになった成果と課題】

- ・漢字の読みについての正答率が全国平均より高い。今後も授業や家庭学習、読書を通して漢字の読みの習熟と応用を図ることが大切である。
- ・国語では、読み取った内容に対する自分の考えや理由を「書く」問題について特に課題が大きい。授業では、書く活動において、目的や内容等の条件を設定して取り組む必要がある。
- ・数学では「関数」について特に課題が大きい。関数の領域は、小学校の既習内容を振り返らせるとともに、変化や対応の仕方に着目させながら関数の意味を理解できるようにする必要がある。また、基本的な知識・理解の定着に向けての取組が重要である。
- ・家庭学習時間は昨年度より増加している。しかし、まだ29.5%の生徒について平日の家庭学習が1時間未満である。家庭学習の内容の工夫、また、家庭学習習慣の定着の取組など更に充実させていかなければならない。
- ・読書の時間においては、取り組む時間が前回調査時より減少している。文章に触れ、内容を読み解く力を身に付けるためにも、読書活動の充実が必要である。

【課題に応じた改善のポイント】

- 授業改善の取組
 - ・「岡山型学習指導のスタンダード」を基にした授業づくりに加え、「岡山型学習指導のスタンダード増補版 授業改善『一步先へ』」に示されている児童生徒が主役となる授業づくりと全体を見通した単元計画を行う視点を重点として、授業改善を進める。
 - 課題を意識して、生徒が主体的、協働的に学ぶ視点を重視した授業改善を進める。
 - ・「読むこと」「書くこと」を意識した授業を組み立てる。
 - 「書く活動」においては、条件を設定したり、書く時間を確保したりすると共に教師のフィードバックで意欲を高める。
 - ・基礎・基本の徹底と確認
 - 授業、補充学習、家庭学習の連携や「美作市数学検定」等の実施と活用により定着の確認と徹底を図る。
 - 一人一台端末を活用した個別最適化された学びと協働的な学びの場を研究・実践する。
- 落ち着いた学習環境づくりと学ぶ意欲の向上
 - ・人間関係を大切にしたい、生徒が主体的に学び合える学級集団づくり
 - ・ユニバーサルデザインを意識した学習環境の整備
- 生活習慣、学習習慣の確立
 - ・中学校区での家庭学習に関する取組の充実（家庭学習充実ウィーク、家庭学習の手引き等の活用）